



## 藻類アート

---

### *Rhodymenia pertusa* (Post. et Rupr.) J. Agardh アナダルス

紅藻アナダルスは時化のあとの打ち上げ海藻の中に混ざっていることが多いが、付着器がなかったりして完全な良い標本を探すのが意外に難しい。この海藻は深みに生えているとみえて、私は残念ながらまだ海中の大きくて立派な葉体を見たことがない。時には潮間帯の岩陰の暗がりから見つかることもあるが、それらは皆小さく、色も淡くて深いところに生える葉体の美しさはない。描いたものも函館の住吉浜で拾った打ち上げ品である。

アナダルスの最大の特長は何と言っても葉面のたくさんの丸い穴で、しかもその縁がみな同じ一方の面にすこし飛び出していることである。それを見ると私はなぜかいつも子供の頃に台所にあった大根おろし用の下ろし金を思い出してしまう。それはこの絵のような楕円形の厚い鉄板に直径4.5ミリもある大きめの穴を打ち抜き、その縁をおろし面のほうにめくらせたいかついしろものだった。もちろん、アナダルスにはそんな豪快な冷たさなどはないが、描いていると海藻独特の形態形成の不思議さが伝わってくるのである。